

製品名: アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe85552

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,IP 1:10-1:20
分子量	Calculated MW: 48 kDa; Observed MW: 45 kDa

抗原情報

遺伝子名	Aspartate Aminotransferase
別名	KAT4; KATIV; KYAT4; mitAAT
遺伝子 ID	2806.0
SwissProt ID	P00505
免疫原	ヒト FABP-1 の合成ペプチド

背景

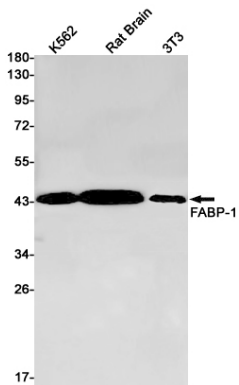
アミノ酸代謝において重要な役割を果たします。ミトコンドリアと細胞質間の代謝産物交換に重要です。長鎖遊離脂肪酸の細胞内へ

の取り込みを促進します。

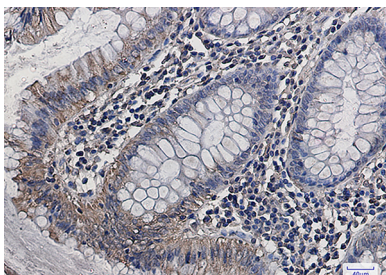
研究分野

-

画像データ



アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ抗体を使用した、K562、ラット脳、3T3 溶解物中の FABP1 のウエスタンブロット分析。



FABP1 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト大腸癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。